

令和4年度第1回太白区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事録

- 日 時：令和4年6月11日（土）午前9時30分～午後0時30分
- 場 所：太白区役所4階第1・2会議室
- 出席委員：本田茂委員長、岡部邦彦委員、菅原玲委員、岩間友希委員、佐藤浩委員
- 欠席委員：笹崎久美子副委員長
- 事務局：山田まちづくり推進部長、那須野まちづくり推進課長、佐藤地域活動係長、
稲舟地域活動係主事、細谷地域活動係主事

○会議内容

1 開会

2 議事【非公開】

委員長及び副委員長の選任を行った。

議事録署名委員を指名した。

- (1) 評価方法について説明
- (2) 企画事業の概要説明

3 令和3年度企画事業実績報告会【公開】

- (1) 開会
- (2) 実績報告及び質疑応答

「元気もり森まもり隊」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

平成23年度の開始以降、10年にわたって林地管理作業を行うとともに、地域住民や近隣小学校の生徒等、多くの区民と自然観察会や緑地保全活動を行い、緑地への親しみを深めることができた。

また、新たな組織の参画も生まれた。当事業で主な実施場所としてきた金剛沢緑地には、以前より地下鉄東西線開業に関連した八木山まちづくり研究会が関与していたが、金剛沢緑地における活動の核となる組織として、令和2年4月に金剛沢緑地愛護協力が設立され、「八木山テラス」構想を持ち、各種の助成金等を活用しながら、当該緑地の除草や、ベンチ、花壇の整備、各種イベントの開催等、自立した活動を行っている。

質疑応答：

[委員]

- ① 八木山まちづくり研究会が本事業に火をつけるようなきっかけを与えたと思っているが、その活動に関わって良かったことはあるか。
- ② 本来の目的は23か所の森林を充実させていく、市民を巻き込んでいくことが目的であったが、発表を聞くと主に金剛沢緑地に終始したと思われる。今後、この成果を他の緑地にどのように拡げていこうと考えているのか。

[報告者]

- ① 八木山まちづくり研究会の活動には公園課の職員も一緒に参加しながら、活動できたことが良かったと思う。
- ② 金剛沢緑地は、身近で入りやすい・平場が多い・散策路もある等、好条件が揃い適地であった。今後、適地になる緑地を増やしていきながら、八木山まちづくり研究会のような動きがある団体が出てきたら積極的に関わり、本成果を他の緑地へも広げていきたい。

[委員] まちづくり活動においてはリーダーに負担が集中しメンバーとの負担差が生まれ、活動の存続が課題だが、金剛沢緑地愛護協力会においては、みなさんが主役になり、リーダーに負担が集中せず、上手く回っている印象がある。ぜひ、良い事例としてしっかり分析し、他の事業にも活かしてほしいと思う。

[報告者] 金剛沢緑地愛護協力会とも情報交換をしているので、今後も分析等し他の事業に生かしていきたい。

[委員] 今回のような優良事例を、具体的に活動報告書を作る等して、今後、オンラインで発信すること等を検討していただければと思う。

[報告者] 参考にさせていただく。

「地域づくりの担い手支援事業（太白区中央市民センター）」の実績報告及び質疑応答 実績報告：

コロナ禍の影響でイベント開催に制限がかかる中で、一部の事業では核となるイベントを止む無く中止することとなったが、コロナ対策等の議題が契機となって運営に関わる地域住民との協議を深く行うこととなり、地域にとって各事業が重要で活動を継続する必要な事業であることを再確認し、地域住民と協働でまちづくりを推進する体制を維持できたことが4事業共通の成果として挙げられる。

質疑応答：

[委員] 本事業はSDGsの参画にも非常に貢献している事業だと思う。各市民センターが主体となった地域交流が、確実に進んでいるのが伝わってくるので、各市民センター事業のノウハウが見える化し、他団体にも共有し、今後も（事業を）継続してほしい。コロナ禍の空いてしまった2年でも事業を継続できたモチベーションはどう維持できたのか発信していただけると、みなさんのエネルギーにもなる。

[委員] コロナ禍で無駄なものが無くなり、本当に必要な物・事が残ったと思う。例えば、まちづくりの会議など、WEBで行うことにより、普通は一人で参加するところを家族で参加できる等、多くの人に参加できる。これからは、コロナだから辞めるではなく、WEBで開催すること等、行政が諦めず率先して実施することで、事業も継続できていると感じたので、引き続き成果を発信してほしい。

[委員] 4つの事業の関連性をつないで、1つの大きな枠組みで考えられるといい。

[委員] 限られた予算の中でしっかりやっていると思うので、引き続き頑張ってもらいたい。

[委員] コロナ禍でここまでやってこられて素晴らしい。今回の報告に載らないような活動をしている方々にも、コロナの状況下でも実施できた成果を伝えられるといい。また、例えばZOOMでの会議を行い、総会の決をZOOMでとれるか等、コロナ禍でもやれることはあるので下準備をしておく必要があると思う。

「地域づくりの担い手支援事業（まちづくり推進課）」の実績報告及び質疑応答 実績報告：

新型コロナウイルス感染症の影響により、団体入れ替え制での報告会としたため、団体同士の交

流や情報交換を実施することはできなかったが、太白区区民協働まちづくり事業評価委員との意見交換により、活動へ対するアドバイスを受ける場とできた。

質疑応答：

[委員] WEBの活用をどう捉えていくか。事業の目的に「分野を超えたまちづくり」とあるが、内側からの発信と外側からの発信にアナログとデジタルをどう活用・展開していくか考えながら、活動の仕方を進めていってほしい。その視点でスマホ教室を開くと良い。

まちづくりという視点で、市民がまちづくりを通して豊かに生活をしていくことも（地域にとって）大きな役割だと思う。各方面、様々なまちづくり活動がある。しかし、それぞれが単体の活動であるため、それぞれが連携し、将来に向けたビジョンを検討していくことができていない。WEBを活用したまちづくりを取りまとめである、まちづくり推進課がどう繋いでいくか検討してほしいと思う。

[委員] 企画事業実績報告会が入れ替わり制であることが勿体ないと思うので、できればZOOMで実施した方が、各報告者が多く参加できるのではないか。

スマホ教室は、内容をLINEの使い方やZOOMの使い方等、まちづくりに参画できるような内容にした方がいいのではないか。ZOOMは40分を超えると有料だったと思うので、ぜひ、まちづくり推進課で一つ有料会員になりアカウントを持っておくと、多様な人が参加しやすいのかと思う。

[委員] 学生が一人も集まらなかったのは、学校として生徒を出せなかったのか、ただ単に一人も集まらなかったのか。どちらか。

[報告者] 時期が1月下旬だったので、試験と重なっていた。また、コロナ感染者数が増えた時期でもあり、活動が制限されていた時期だったので、一人も集まらなかったと認識している。

[委員] 今は、学生のまちづくりに参加したいという意欲が高いので、今後は時期などをみて募集をかけるのがいいのかと思う。

[委員] 学生のまちづくりの参画という時に、参画の方向性を「どういう風に参画することで、誰がどう変わるのか」「どこに刺さって欲しい」等、明確にすると良い。今の学生は「無駄なことはしない」「フィードバックが得られなければやらない」「しかし、参画したい」という裏腹な学生が多い。しかし、相対的にはとても真面目な学生が多いので、学生を巻き込む際に、行政の方に方向性を明確にしたリーダーシップを発揮してもらえると学生もしっかりついていくと思う。

「たいはくっこくらぶ」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

- ・区内の小学校10校から18名の児童が参加登録した。
- ・小学校区を越えた児童同士及び事業に協力いただいている団体との交流で普段と違った経験することにより、児童の健全育成に寄与することができた。特にジュニアリーダーは、年齢が近いこともあるため、その活躍を身近に感じたことで具体的に将来の地域活動へつながるきっかけづくりを果たすことができた。
- ・普段あまり経験することが少ない経験や地域団体との交流を通し、太白区の魅力的な資源について知ってもらうことができたことから、地域理解の促進に繋げることができた。
- ・参加者アンケートでも「ほかの学校の新しい友達ができ」「やってみたらテント張りより焼き板作りのほうが楽しかった」「球技が苦手な自分でも楽しめた」など、新たな発見があったとの意見があった。

質疑応答：

[委員] 子どもたちを長年対象にしている事業で素晴らしい。各校2名などの決まりはあるのか。また、学校の偏りはあるのか。

[報告者] そのような制限はなく、偏りもなく満遍なく募集人数が集まった。

[委員] 現在、地域でグランドボールがとても盛んなので、地域で盛り上がっているスポーツ等をやってみると、おじいちゃんおばあちゃんと家庭での会話や地域参加が促進できるのではないか。

「ディスカバーたいはく」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

- ・初夏と秋に合計2回実施の予定であった区内探訪会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、初夏は中止、秋は参加人数を少なくしたまち歩き「ミニ区内探訪会」を実施した。春のミニ区内探訪会は、秋と同様参加人数を少なく募集したが、定員を大幅に上回る応募があり抽選を行なった。

30年度：応募37名（抽選により参加18名）

元年度：応募49名（抽選により当選38名）

2年度：応募42名（選考により当選17名）

3年度秋：応募16名（当選16名）

3年度春：応募21名（抽選により当選15名）

参加者アンケートでは、企画委員のわかりやすい説明により区内名所旧跡への理解度が深まったとの声が聞かれ、当日配布した資料はとても貴重な内容であるとの声もいただくなど、満足度の高い探訪会となった。「多賀神社編」「馬場地区編」「湯元地区編」3地区の映像制作に関しても、公開した太白区チャンネルにおいて概ね150回程度再生(3/28現在)していることから、太白区の魅力を再発見する機会を提供するという本事業の目的に合う成果を得ることができた。

- ・区内の名所史跡を示す案内板の維持管理については、目視による修繕箇所確認を行い、適切に修繕業務請書を締結し、履行確認を行なったことにより、太白区の魅力を発信し広く市民に周知して地域に対する理解を深めるといふ本事業の目的に合う成果を得ることができた。

質疑応答：

[委員]

- ① 冊子・マップの販売は終了し、なぜ動画になったのか。経緯を知りたい。
- ② 案内板の修繕費は1つあたりどれくらいか。

[報告者]

- ① 現時点で、冊子・マップの更新や増刷はしていない。また、新型コロナウイルス感染症の影響により区内探訪会へ参加する機会が減少していたため、動画での発信も実施した。
- ② 1万円かからない程度。

[委員] 冊子の更新は、すごく悩ましいと思うが、有償で販売する仕組みは残しておいた方がよい。

[委員] 去年の申込者の21名のうち6名落とした理由は。

[報告者] 安全面も考慮し、15名とした。

[委員] オルレ（トレッキングコース：韓国発祥）宮城県にも4か所ある。無料で、好きなコースを歩ける。その太白区版を企画するのもより多くの方が参加できて良いのではないか。

「たいはく若者まちづくりフォーラム」の実績報告及び質疑応答

実績報告：

- ① まちづくりをテーマとして取り組んでいる大学の研究室等によるまちづくり活動の支援や生田地区において、まちづくりにおける連携・協力等に関する覚書に基づき、大学と地域との連携によるまちづくり活動を行った。コロナの影響でもオンラインでの打ち合わせを行う

等工夫しながら下記活動を行った。

- ・沼田邸の空き家活用は小屋の床貼り作業を行った。
- ・旧守屋邸の改修工事は、畳の搬入と設置を行った。
- ・地図作りワークショップは次の対象の梨野地区に向けてプレ調査を実施し、景観資源の抽出を図った。
- ・赤石地区の地図を完成させた

② 区民協働まちづくりをテーマとした一般教養講座の開講

東北工業大学建築学科と協力し、令和3年度も後期に共同講座を開講し、下記の成果を得た。

- ・受講生：約40名(三年生を含む)
- ・受講者へのアンケート結果：まちづくりへの関心が高まったという回答がほとんどを占め、今後のまちづくり活動等への参加意欲もあることがわかった。ワークショップを通じて、まちづくりについて深く学ぶ事が出来た、長町の魅力を探していく過程で地域の歴史や特徴を知ることができたなどの意見があった。

質疑応答：

[委員]

- ① 目的は担い手の育成だが、大学を卒業しても、まちづくりの担い手にはならないんじゃないか。
- ② 研究室としては大変良い活動をしているのだが、実際にまちづくりに対する影響はどのようなものがあったか。
- ③ マチキチを昨年審査した際は、もう一工夫必要だと審査したが、その辺りどうだったのか分かれば聞きたい。

[報告者]

- ① (担い手育成というより)若い方に興味を持ってもらうことが趣旨だった。
- ② 生出地区のまちづくりに大学生と一緒に参画しまちづくりについて学ぶことによって、まちづくりの担い手育成に繋がっているのではないかと考える。
- ③ マチキチさんには長町地域の代表のような立ち位置で、取りまとめの役割を期待している。先日、大学の研究室で長町地域まち歩きのワークショップの報告会を長町地域向けに実施した際、マチキチさんに長町地域側の取りまとめを行ってもらおう等、大学と地域をつなげる架け橋のような役割になってもらっている。

[委員] 今回の発表資料には大学生しか映っていないので、もう少しまちづくりの人たちも載せようというが良い。

[報告者]長町地域まち歩きワークショップにも実際に地域の方も一緒に歩いている。次回以降、写真の構図に気を付ける。

[委員] 受講生の内訳を知りたい。

[報告者] 講座自体が単位取得可能であるが、多くは1・2年生の不破研究室の学生。

[委員] (補足) (3年生)の記載は要らないのでは。不破研究室の活動報告になってしまっている気がする。もう少し区の事業だということを表現してほしい。1・2年生が多いのは入学前にまちづくりに触れてこなかった学生の興味から多くなっている。また、この事業が5年目ということもあり3年生は少ないのかなど。当初は地域住民の方も参加していたので、過去を参考に再び地域住民を入れても良いのではないかと思う。

4 議事 【非公開】

(1) 評価

(2) その他

5 閉会